



令和6年度児童相談所関連研修 一時保護所職員Ⅱ

日 程

令和6年 12月 17日（火）、26日（木）

対 象

子ども家庭福祉・母子保健等に携わる職員【定員72名】
一時保護所に勤務する職員、一時保護所での勤務を予定している職員

ねらい

一時保護所運営に求められる知識・スキルを身につけると共に、子どもの権利に配慮しながら行動観察・アセスメントを行い、子どもの課題や潜在的ニーズの把握、他職種・他機関との連携に基づく子どもに対する的確な対応・ケア等ができる実践的能力の向上を図る。

場 所

特別区職員研修所（東京区政会館別館）（千代田区九段北1-1-4）

管理職、児童相談所事務、児童福祉司、児童心理司、弁護士、医師の方も是非ご参加ください。

12月	教科目・講師名（敬称略）
17日 （火）	9:00～12:30 子どもの支援の基本【講義・演習】 一時保護所における支援の現状と課題、求められるケア・アセスメントの概要を学びます。そして、生活の中で起こりうる危機対応（いじめ、自傷、自殺企図等）と子どものケアとエンパワメントに役立つ子ども中心の支援の技術と考え方を講義とワークを通して実践的に学びます。 【講師】目白大学 心理カウンセリング学科 専任講師 中野区児童相談所 一時保護所 心理療法担当職員 臨床心理士・公認心理師 阪無 勇士
	13:30～17:00 虐待が子どもに与える影響とTIC（トラウマインフォームドケア）【講義・演習】 トラウマインフォームドケアの理論と実践を中心に、虐待が子どもの発達に及ぼすメカニズム、アタッチメント、介入や治療等についてご講義いただきます。荒川区、江戸川区、港区児童相談所嘱託医師としての講師のご経験から、特別区の児童相談の実情を踏まえたお話を伺います。 【講師】総合母子保健センター 愛育クリニック 小児精神保健科 部長 小平 雅基
26日 （木）	9:00～17:00（1時間の昼休憩を含みます） 特別区児童相談所一時保護所からの報告と意見交換【報告・演習】 特別区児童相談所一時保護所の運営や実践の工夫等について、下記のテーマを中心にグループで討議し、児童の安全と権利を守る一時保護所のあり方を考えます。 【講師（ファシリテーター）】港区児童相談所 児童相談課 職員 〇想定しているテーマ ① 一時保護所における行事について ・ 行事の内容（児童への周知を含む） ・ 行事の準備活動について（児童の参加について） ・ ボランティアの活用について ・ 行事以外の植物や生物の飼育について ・ 行事活動の効果について ② 個別支援プログラムについて ・ 個別支援の対象となる子ども ・ 一時保護所でのプログラムの内容 ・ 成果と課題 ③ 一時保護所の心理療法担当の役割 ・ 入所時の役割（児童福祉司・児童心理司との連携等） ・ 生活場面での役割 ・ 子どもの意見表明への支援 ・ 行動診断における役割と退所後の生活支援 ④ 児童の退所時の対応について ・ 本人との協議の流れ ・ 本人への日程の告知 ・ 退所児童以外の児童への説明 ・ 退所式（セレモニー）